

### 株式会社エスピック様

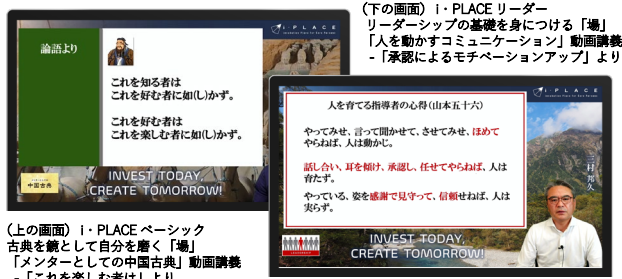
## 「技術も大切だけど、『人』が一番大事」を実践するIT企業を率いる。トップマネジメントの「懐刀」として i・PLACE を活用。

「Good People Company」(人を一番大切にする企業、人の成長と共に成長していく企業)を企業理念に、人に寄り添ったITサービスを創り、提供する株式会社エスピック様。「技術も大切だけど、『人』が一番大事」を実践する様々な取り組みをされる中で、代表取締役社長の白川満貴様は i・PLACE を「懐刀」として活用し、人や人の幸せを一番大切にされた企業運営にあたられています。

### 私の i・PLACE 活用法

#### スピーチに古典などの引用を入れ、聴衆を惹きつける

「社長という立場上、入社式や年頭所感などスピーチする機会が多いのですが、スピーチの一部に古典などの引用を入れると、自分のオリジナルの言葉だけでしゃべるより、スピーチ全体が引き締まるんです」。白川様の i・PLACE の一番の活用法は、中国古典をはじめとしたオンライン動画講義やチャートから自身の伝えたいことに紐づく言葉やテーマを引用することだと言われます。「スピーチの中で論語の一節を言ってからそれに続けて話をすると、聴いている人をぐっと惹きつけるインパクトがあるように思います」。



#### 話す相手に合わせ、引用する言葉やテーマを吟味する

例えば、新人の社員に話すときには、論語より「これを知るものはこれを好むものに如かず。これを好むものはこれを楽しむものに如かず」(物事を理解し知っている者は、それを好んでいる者には及ばない。物事を好んでいる者は、それを心から楽しんでいる者には及ばない)を引用する。マネージャークラスを対象に話をするときには、i・PLACE リーダーの講義にある、山本五十六の「人を育てる指導者の心得」より「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」を引用する。といった具合に話す相手に合わせ、参考・引用する言葉やテーマを吟味しているとも話しておられました。



株式会社エスピック 代表取締役社長 白川満貴様

### i・PLACE のいいところ

#### スケジュールの合間に視聴するのにちょうどいい

“メンターとしての中国古典”の動画講義は一つのテーマが約10分と、だいたい15分くらいという白川様のスケジュールの合間に視聴するのにちょうどいいと言われます。「ちょっとこの時間に新しいネタを仕入れておこうか」という感じだそうです。どんな言葉がどんな場面で使えそうかを思い描きながら新着の講義を視聴するのがちょっとした楽しみにもなっているとのことです。

#### 様々な課題に対して、紐づく何かが見つかりそう

「経営者としての悩みは尽きることがありませんが、特に古典には、それらに紐づく何かが必ずあるんだろうと思っています」と、いつもそばにあって手軽に使える i・PLACE が経営課題や経営者の悩みを解決する一助になり得ることも示唆しておられました。

### 若い人へのアドバイス

#### 若い時から古典に慣れ親しむのがいい

「上司からやれと言われてやるものではないと思いますが、若い時から古典に慣れ親しむようにするのがいいと思います。また、特に人前でスピーチをする機会のある人たちには、i・PLACE をぜひお奨めしたいと思います」と、“人を一番大切にする企業”のトップは若い人たちのことを慮られました。

(この文書の記載内容は、2022年5月現在のものです。)



株式会社エスピック様  
本社 東京都墨田区両国 2-10-14  
両国シティコア 9階  
<https://www.spic.co.jp/>

■発行 株式会社アイパートナー  
〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-5-14 WISE NEXT 新横浜3階

貴社の中核となる人材を育む 学び・鍛錬の場を、オンラインで。

i・PLACE (アイプレイス) の詳細はこちら ▶▶▶

<https://www.i-partner.co.jp/iplace.html>

